「令和8年度 大学スポーツ総合支援事業」企画提案書（事業概要資料）

③大学スポーツによる地域振興等の推進事業［学内活性化型］

大学名	新潟医療福祉大学

実施計画名	ＮＵＨＷスポーツフェスタを核とした「大学×地域×企業」による地域共創プラットフォーム形成事業
事業概要	**・新潟医療福祉大学スポーツフェスタ拡大プロジェクトの立ち上げ** **参加者数・満足度・健康意識の向上、企業マッチング、在学生マッチング、地域に根差したイベントに向け6つのセクションからなるプロジェクトチームを結成。3回目となる今年度は、新潟県スポーツ協会との連携によるコンテンツの魅力向上および拡充を実現する。さらに非運動部学生を巻き込んだ学生セクションを新設。地域課題だけでなく、学内におけるウェルビーイングの土台構築に向け、非運動部学生と運動部学生が協力した組織を立ち上げる。** **・新潟医療福祉大学スポーツフェスタの開催（10月11日）** **幼児・小学生・保護者を対象としたスポーツイベントを実施。本学スポーツ資源を活かした特色あるコンテンツと新潟県スポーツ協会との連携により地域課題の解決に寄与する。** **⇒スポーツ体験ブース、身体・運動能力測定ブース、パラスポーツ体験ブース、ボディケアブース、アルビブース、企業ブース、在学生スポーツ体験ブース、スポーツキャラバン（県スポーツ協会）ブースで構成する。**

■対象地域が抱える課題

対象地域	学内

※新潟市スポーツ振興基本計画『第3次「スポ柳都にいがた」プラン』より
★生涯スポーツ社会の実現
→・誰もが参加できるスポーツ機会の創出
　・スポーツを支える環境づくり（指導者の養成、気軽にスポーツに取り組める情報発信）
★スポーツを活かしたまちづくり
→・スポーツの魅力を活かした愛着の醸成と賑わいづくり（観戦者数、賑わいづくり）
　○市民（成人）の運動実施率の向上（R4年:50.8% 目標値:70%）
　○スポーツ環境への満足度の向上（R4年:42.5% 目標値:60%）

■活用する大学スポーツ資源

・新潟医療福祉大学 アスレティックデパートメント
・新潟医療福祉大学 強化指定クラブ 学生・スタッフ
・新潟医療福祉大学 各学科（健康スポーツ学科・救急救命学科・義肢装具自立支援学科・鍼灸健康学科）
・新潟医療福祉大学 各スポーツ施設・検査機器
・NSGグループのネットワーク（スポーツチーム・医療機関・大学）
・新潟県スポーツ医科学センター

■主な参加者･想定人数

区分	内容	人数
管理者（大学教職員）	アスレティックデパートメント、教職員	30名
運営スタッフ（学生）	強化指定クラブ･一般学生	150名
地域住民（参加者）	幼児、小学生、保護者	600名
協力団体	新潟県ｽﾎﾟｰﾂ協会、（一社）車椅子ﾘﾌﾄﾎﾞｰﾙ協会、新潟ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院、ｽﾎﾟｰﾂ医科学ｾﾝﾀｰ、新潟食料農業大学	15名
プロスポーツチーム	各アルビレックスチーム（サッカー、バスケ、陸上など）	5名

■期待される事業効果

〈期待される効果〉

・運動習慣意識の変化	**・健康意識の変化**	**・スポーツ実施率の向上**
・イベント満足度	**・スポーツ継続意識**	**・健康意識の向上**
・スポーツ交流人口の増加	**・健康寿命の延伸に寄与**	**・新規スポーツ指導者の育成**
・スポーツを通じた賑わいづくり	**・新たにスポーツ活動を開始する人口の増加**	

【KPI】

〈満足度調査〉 イベントの満足度⇒**「満足した」という回答が100%**
イベントの次回参加意向⇒**来年も「参加したい」という回答が95%以上**
〈意識調査〉 スポーツ、運動への興味関心⇒**「興味をもった」という回答が97%以上**
スポーツの継続意識⇒**今後も「行いたい」という回答が95%以上**
〈スポーツ関係人口〉 イベント参加者（子ども・保護者）⇒**600名以上**
学生参加者（運動部・非運動部）⇒**200名以上**
スポーツ観戦者数の増加⇒**「見に行く」「できれば見に行きたい」という回答が85%以上**

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織･団体との連携体制も示すこと）

